



2022年11月14日

各 位

会 社 名 三 菱 商 事 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 西 勝 也
(コード番号:8058 東証プライム)
問 合 先 広 報 部 報 道 チームリーダー
岡 本 卓 馬 (03-3210-2171)

当社の連結子会社株式に対する公開買付けに係る応募契約締結に関するお知らせ

当社は、本日、センコーグループホールディングス株式会社(以下、「センコー」といいます。)との間で、センコーが実施する中央化学株式会社(以下、「中央化学」といいます。)(当社連結子会社)の株式に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)に当社が応募する旨の契約(以下、「本応募契約」といいます。)を締結しましたので、お知らせいたします。本公開買付けが成立した場合、中央化学は当社の持分法適用先となります。

1. 本応募契約締結の目的及び経緯

中央化学は、1957年に食品包装容器メーカーとして創業し、東京証券取引所スタンダード市場に上場しております。中央化学は、主にスーパーマーケット、コンビニエンスストア、お弁当・惣菜の専門店を始めとする様々な店舗で使用される食品容器等の企画から研究開発、製造、販売までを一貫して行っております。当社は、化学品産業の川中・川下加工分野への投資による合成樹脂 Value Chain 強化という当時の戦略に基づき、中央化学再建による随伴取引利益・連結収益拡大と、中央化学中国事業活用による当社合成樹脂事業の中国展開拡大を目指し、2011年9月に中央化学株式に対する公開買付けを実施し、中央化学を当社の連結子会社としました。

その後、中央化学の2017年度の減収・赤字幅の拡大を受け、当社は、2018年7月に優先株式の引き受けによる資本支援を実施した他、2018年度から2020年度にかけては、中央化学の構造改革を通じた経営支援にも取り組みました。その結果、中央化学は、直近では4期連続の黒字を達成しております。

一方、当社は、2022年に経営の指針として策定した「中期経営戦略2024 MC Shared Value(共創価値)の創出」の中で、今後の事業環境の変化に迅速に対応し、経営管理制度としての循環型成長モデルへの取り組みを加速することにより、資本効率の維持・向上、経営資源の入替を目標とすることを掲げており、中央化学についても更なる成長・飛躍を推進できる新たなパートナーに、当社が保有する中央化学の株式を譲渡し、中央化学及び当該パートナーが共に成長を目指すことが望ましいものと考えました。

今般、当社は、物流事業を中心として、商事・貿易事業、ライフサポート事業及びビジネスサポート事業を展開する総合力を有し、生活関連事業の領域において、社会の利便性向上、消費者の生活向上に資する事業を拡大すると同時に、卸事業からモノ作り事業にも進出するという方針を掲げているセンコーが、消費者の生活に欠かすことのできない食品包装容器を取り扱う中央化学のパートナーとして適切であること、

並びに、中央化学の物流機能の向上・効率化、営業の強化や生産性の向上を通じた現場支援が可能な最適なパートナーであると判断し、本応募契約を締結することといたしました。

将来的なセンコーとのシナジーによる中央化学の企業価値向上を勘案すれば、中央化学の株式の市場価格を下回る金額で第一回公開買付けに応募することになるとしても、親会社をセンコーとする経営体制に移行することが中央化学にとり望ましく、また、本スクイーズアウト手続完了後の当社による40%の再出資を検討しておりますが、センコーによる中央化学の企業価値向上の実現や経営体制のスムーズな移行を支援するという目的に照らして合理的であると判断しております。当社は、本公開買付け後も従前通り、中央化学との取引を継続することを予定しております。

本公開買付けの詳細については、本日、センコーが公表した「中央化学株式会社(証券コード:7895)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」及び中央化学が公表した「センコーグループホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照ください。

2. 当社の概要

本社所在地 : 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号

事業内容 : 天然ガス、総合素材、石油・化学ソリューション、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の10グループに産業DX部門を加えた体制で、幅広い産業を事業領域として多角的なビジネスを展開

代表者 : 代表取締役社長 中西 勝也

創立 : 1954年(設立1950年)

3. 中央化学の概要

本社所在地 : 埼玉県鴻巣市宮地三丁目5番1号

事業内容 : 合成樹脂製簡易食品容器及び関連商・製品の製造並びに販売

代表者 : 代表取締役社長 早澤 幸雄

創立 : 1961年(創業1957年)

4. センコーの概要

本社所在地 : 東京都江東区潮見二丁目8番10号

事業内容 : 物流事業、商事・貿易事業、ライフサポート事業、ビジネスサポート事業

代表者 : 代表取締役社長 福田 泰久

創立 : 1916年(設立1946年)

5. 本公開買付けへの応募予定株式数、譲渡価額及び本公開買付け前後の所有株式数

(1) 本公開買付け前の所有株式数

- a. 普通株式 : 12,207,700株(議決権の数:122,077個、議決権所有割合:60.58%)*1
- b. A種優先株式 : 2,000株(議決権なし)*2

*1: 本書の議決権所有割合は、中央化学が2022年6月28日付で提出した「第62期 有価証券報告書」に記載された2022年3月31日現在において当社が所有する議決権数の中央化学の総株主の議決権数に対する割合を記載しています。

*2: 当社は、所有するA種優先株式の全てについて、本公開買付け開始後、遅滞なく普通株式対価の取得請求権を行使する予定です。

(2) 本公開買付けへの応募予定株式数

19,109,011 株(議決権の数:191,090 個、議決権所有割合:70.64%)*3

*3:上記 a.の普通株式 12,207,700 株(議決権の数 122,077 個)と、上記 b.の A 種優先株式の普通株式対価の取得請求権を行使することにより交付される普通株式(以下、「A 種優先株式転換後普通株式」といいます。)6,901,311 株(議決権の数:69,013 個)の合計として計算しております。また、議決権所有割合については中央化学が 2022 年 8 月 10 日に提出した第 63 期第 1 四半期報告書に記載された 2022 年 6 月 30 日現在の中央化学の発行済普通株式総数(21,040,000 株)に、A 種優先株式転換後普通株式数を加算した株式数(27,941,311 株)から、「2023 年 3 月期 第一四半期決算短信[日本基準](連結)」に記載された同日現在の対象者が所有する自己株式数(891,140 株)を控除した株式数 27,050,171 株に係る議決権の数 270,501 個を分母として計算しております。

(3) 譲渡価額

約 37 億円(1 株当たり 195 円)*4

*4:譲渡価額は、本公開買付けが成立し、且つ、当社が応募した中央化学の株式が全て買い付けられた場合の譲渡価額を記載しております。

(4) 本公開買付け後の所有株式数

0 株(議決権の数:0 個、議決権所有割合:0.00%)*5 *6

*5:本公開買付け後の所有株式数は、本公開買付けが成立し、且つ、当社が応募した中央化学の株式が全て買い付けられた場合の所有株式数を記載しております。

*6:本公開買付け後の円滑な経営体制移行を一定期間サポートすることを目的に、中央化学に再出資することを予定しております。

6. 本公開買付けの日程

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| (1) 本応募契約の締結 | 2022 年 11 月 14 日 |
| (2) 公開買付期間 | 2022 年 11 月 15 日 から 2022 年 12 月 13 日 |
| (3) 公開買付結果公表 | 2022 年 12 月 14 日 |
| (4) 決済の開始日 | 2022 年 12 月 20 日 |

7. 今後の見通し

本公開買付けが成立した場合、本応募契約に基づく当社による本公開買付けへの応募により、中央化学は当社の連結子会社から持分法適用先に変更となります。当社の連結業績へ与える影響については現在精査中であり、今後業績の見通しに修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上